

# 上信今昔新聞

村山 柁太郎  
平成 27年 8月 15日



## 上信電鉄と富岡製糸場の 今と昔



2014年6月21日、富岡製糸場と絹産業遺産群が世界文化遺産に登録されました。日本で唯一の電車であくセスできる世界遺産でそれが上信電鉄です。そのことばくほ目をうけ足を運んでみました。

### 昔

明治28年に上信電鉄の前身上野(こづ)つげ鉄道が開業しました。この沿線沿いにはすでに富岡製糸場が存在していました。このことから、両者の関わりについてご質問がうかがひあがってきました。

ご質問> 機械やまゆの車輸送に、上信電鉄は使われていたのか?

①富岡製糸場のカドさんにインタビュー  
機械はフランスから横浜、横浜から上野は、  
← 機関車おは、船で富岡、そして人が運んだよ。

②上信電鉄 高崎駅 助役さんにインタビュー  
← 下仁田の石灰石や、鉄鉱石、高崎からは石炭などを運んでいたよ。

③沿線資料(みどりマップなど)から  
← 輸送力を強化するため、ドイツからデキ型電気機関車を購入。製糸工場の燃料に必要なたんばくを運んだり、まゆの一部も運んだそう。

機械やまゆだけでなく、燃料などを運ぶ、大事な役割を果たしていたんだなあ〜!



〜高崎駅〜  
上信電鉄の玄関口の高崎駅!!  
ホーム沿いの看板には富岡製糸場の案内が書いてあり、観光客への安心と応援している姿が感じられます。



### 今

現在、工場は動いていませんが、観光目的として大事な交通手段として、上信電鉄は多くの人に利用されています。車内アナウンスは英語もあり、外国人も心配なく、電車に乗れるように工夫されています。

上州富岡駅は、富岡製糸場が世界遺産に登録されたことで新しい駅舎ができました。

町に合わせ、レインが造りになつており、最寄り駅として、かなり良くなりました。



これこそ「The 富岡製糸場」の感じが伝わります。

電車の頭につけられている。

ヘッドマークです。

おもしろい駅名発見!

なんじゃ、なんじゃ、南蛇井駅



### 編集後記

自分が立てた仮説と実際に調べた結果は、想像以上に同じで、ものすごくおもしろかったです。また、このように新しい発見ができて、鉄道ファンとして、とてもほかに思いました。今後は、上信電鉄だけでなく、他社も取材したい。このように新聞にまことまこと、富岡製糸場について、お初めに足を伸ばしたところから、たのび非常にいい体験となりました。また、行きたい人にも、知ってもらいたいと思います。

村山 柁太郎



荒船風穴へ行ったら、荒船風穴では、香の卵を貯蔵してたよ。風穴は氷が貯蔵されて、その冷気は、とても冷たくて、号風穴内には、何度か、たよ、げわし、い、抜きたら、たかちが、あ、たよ。

冷風体験中!